

越谷市の

ざいせい状況

〈平成16年度上半期〉

主な内容

一般会計予算の執行状況	2~4
特別会計予算の執行状況	5
市債現在高の状況	6
一時借入金の状況	7
財産の状況	7
平成15年度決算状況	8~9
市債現在高の推移	10
主な財政指標	11
平成15年度貸借対照表	12~13
平成15年度マトリクス型一般会計歳出決算書	14~15

平成16年度

市では、年2回越谷市の財政状況を公表しています。今回、公表するのは平成

一般会計

一般会計は、越谷市の行政運営の基本的な経費を中心に計上されたものです。平成16年度の予算額は790億6,977万円（繰越事業を含む）であり、その執行状況（収入・支出済額）は平成16年9月30日現在、次のとおりになっています。

歳入

市税 49.7%

市民のみなさんに納めていただいている市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、都市計画税、事業所税です。

392億7,200万円

229億 832万円

市債 17.6%

建設事業などを行う際に必要となる資金を、政府や民間の金融機関から借り入れるもので、将来その返済が必要となります。

139億3,620万円

33億3,080万円

国庫支出金 7.4%

地方公共団体が実施する特定の事業に対して国が負担交付する支出金です。

58億2,370万円

18億2,245万円

地方交付税 6.7%

地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするための財源として、国税の一定割合が交付されるものです。

53億4,000万円

39億6,976万円

県支出金 2.9%

地方公共団体が実施する一定の事業に対して県が負担交付する支出金です。

22億7,937万円

4億8,545万円

予算額

収入済額

その他 15.7%

地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入などです。

124億1,850万円

78億 996万円

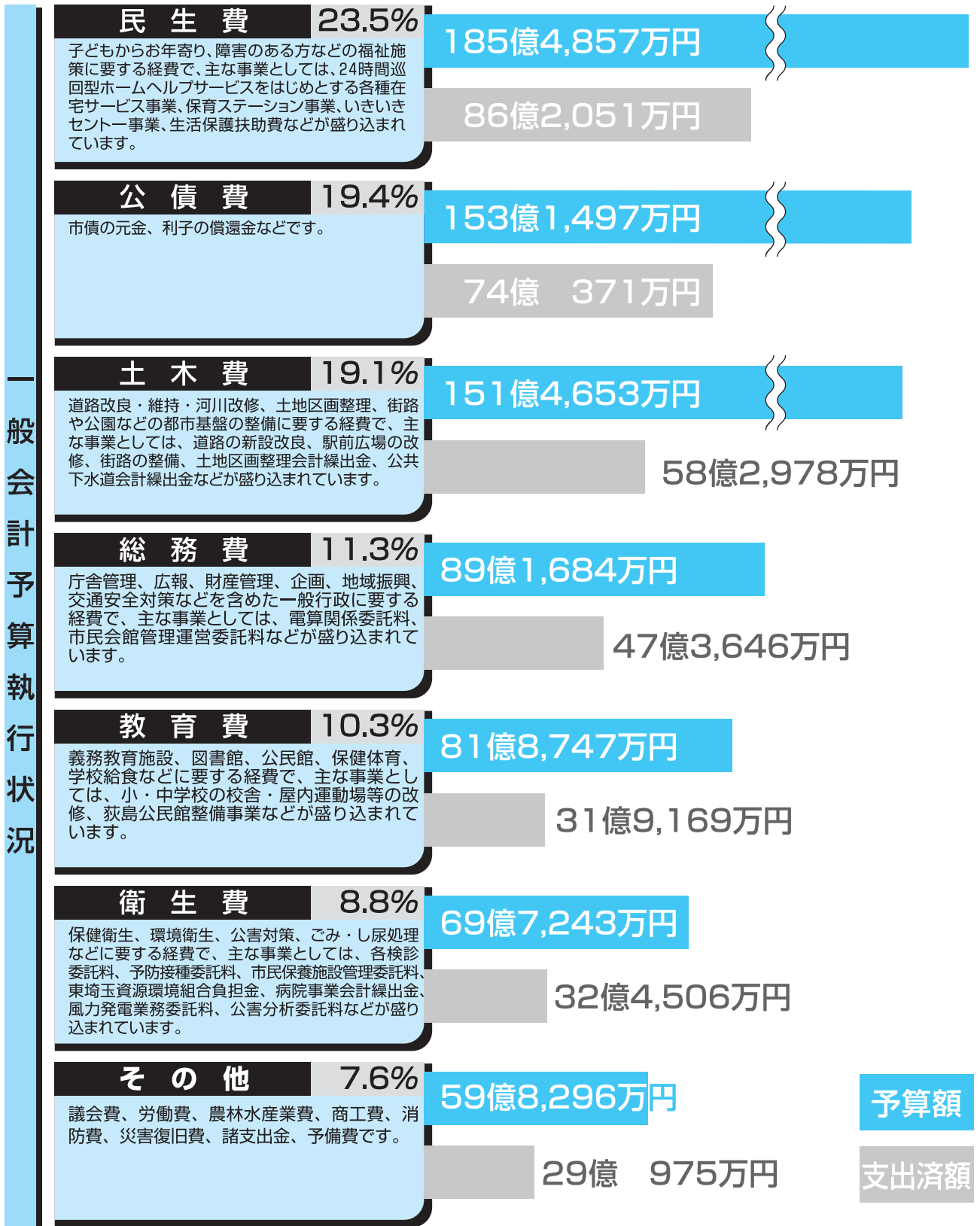
は構成比

※金額は調整の上、1万円単位で表示しています。

予算執行状況

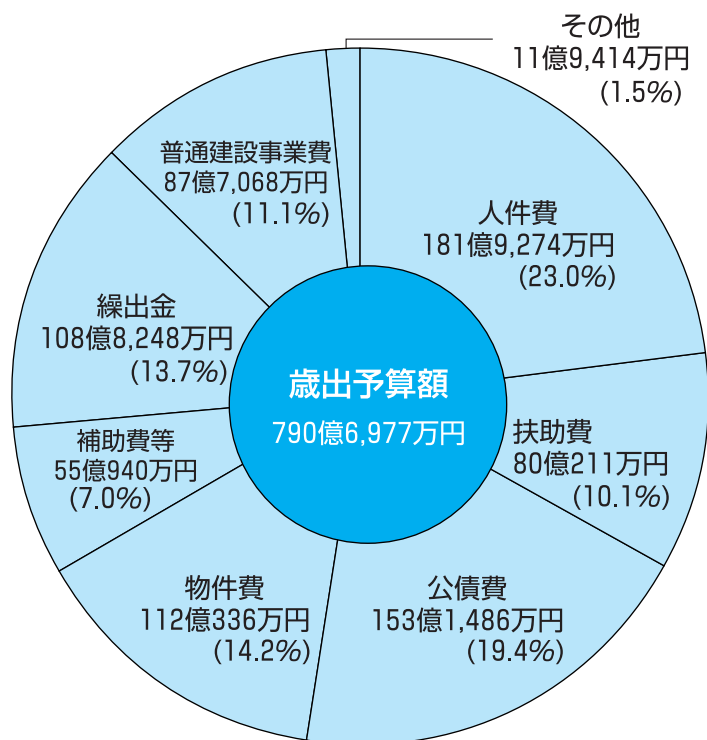
16年度上半期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)の執行状況です。

歳出



歳出予算の 性質別割合

歳出予算をその経済的性質を基準として分類するもので、地方公共団体の財政の体質分析の指標となり、この分類の結果から財政運営の指針を見いだすことができます。平成16年度予算を性質別に分類すると次のとおりになります。



- 人件費（職員の給与など）
- 扶助費（各種福祉サービスを提供する経費など）
- 公債費（市債の元利償還金など）
- 物件費（委託料や備品購入費など）
- 補助費等（負担金や補助金など）
- 繰出金（特別会計への繰出金）
- 普通建設事業費（学校や道路、公園などを建設する経費）
- その他（維持補修費や貸付金など）

市民1人当りの 予算額

平成16年度の歳出予算額と市税予算額を市民1人当りに換算しますと、それぞれ次のとおりになります。

（平成16年9月30日現在の人口317,499人）

市民1人当りの歳出予算額 249,039円						
民生費 58,421円	公債費 48,236円	土木費 47,706円	総務費 28,085円	教育費 25,787円	衛生費 21,960円	その他 18,844円
市民1人当りの市税負担額 123,692円						
市民税 54,561円	固定資産税 52,813円	軽自動車税 526円	市たばこ税 6,614円	特別土地保有税 76円	都市計画税 7,260円	事業所税 1,842円

【平成16年度の市税予算額 392億7,200万円】

- 市民税 173億2,300万円
- 固定資産税 167億6,800万円
- 軽自動車税 1億6,700万円
- 事業所税 5億8,500万円
- 市たばこ税 21億円
- 特別土地保有税 2,400万円
- 都市計画税 23億500万円

特別会計

特定の事業を行う場合に特定の歳入をもって特定の歳出にあて一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合、一般会計とは別に特別会計を設けています。越谷市には、国民健康保険会計をはじめ11会計あり、それぞれの執行状況は平成16年9月30日現在、次のとおりです。

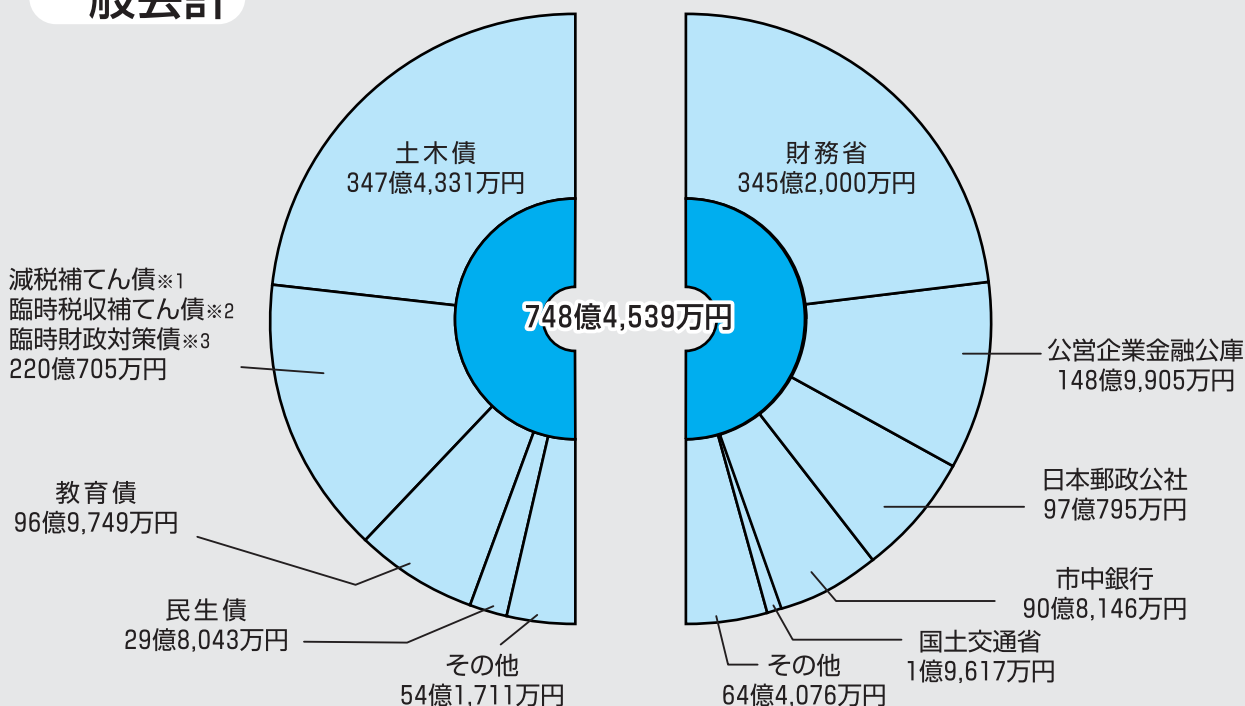
会計別執行状況

会計名	事業内容	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	被保険者の疾病、負傷、出産、葬祭に関して必要な保険給付事業	246億1,752万円	88億 30万円	113億4,740万円
老人保健	老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため70歳以上（段階的に75歳以上に引上げ）又は65歳以上で一定の障害の認定を受けた方への医療給付事業	131億3,187万円	65億5,387万円	64億5,580万円
介護保険	老後における最大の不安要因である介護を社会全体で支えるため65歳以上、又は40歳から64歳までで特定疾病に該当する方への必要な居宅介護・施設介護サービスなどの保険給付事業	61億8,036万円	36億7,733万円	28億1,041万円
交通災害共済事業	市民のみなさんが加入金を支払い交通事故により災害を受けた人に見舞金を支払う共済制度	7,597万円	6,265万円	1,982万円
間久里土地区画整理事業	宅地造成を目的とする事業で、道路、下水道、公園等の公共施設を整備して良好な住環境をもつ市街地を形成する事業	1,692万円	776万円	722万円
東越谷土地区画整理事業		20億3,943万円	9億5,181万円	7億1,640万円
越谷駅西口土地区画整理事業		1億3,083万円	7,915万円	3,083万円
七左第一土地区画整理事業		14億8,197万円	7億7,240万円	4億9,687万円
西大袋土地区画整理事業		31億1,777万円	7億 157万円	4億5,927万円
公共下水道事業	トイレの汚水や家庭から出る雑排水などを衛生的に処理する環境整備事業	105億6,220万円	40億4,745万円	32億5,808万円
公共用地先行取得事業	将来、公共用もしくは公用に供する用地又はその代替地として利用する計画に基づいて用地を取得する事業	3億3,487万円	1,567万円	1億5,949万円

市債現在高の状況

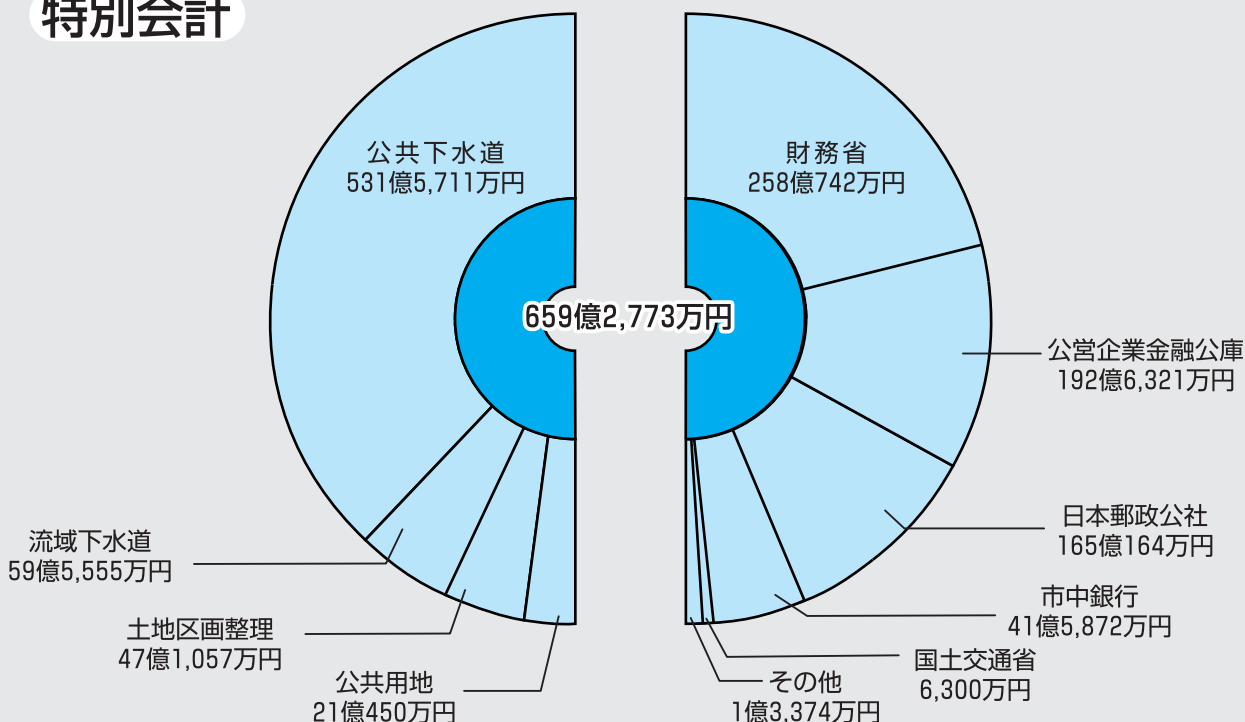
市債は、学校や道路、公園などを整備するために必要な資金を調達する際に発行するもので、後年度においてその返済義務が発生します。越谷市における未償還元金は平成16年9月30日現在、次のとおりになっています。なお、市債の発行にあたっては、地方交付税により財政的に措置されるものを優先的に借り入れるよう努めています。

一般会計



- ※1 地方税を減税したことで生じた歳入の不足を補うための地方債
- ※2 平成9年度の地方消費税の税収が著しく落ち込んだことで生じた歳入の不足を補うための地方債
- ※3 国の財源不足等により減少となった地方交付税交付金を補うための地方債

特別会計



一時借入金の状況

一時借入金は、支払いに対して手持ちの現金が不足した場合に、これを補うために短期間借り入れるもので、当該年度の出納閉鎖日である5月31日までに返済しなければなりません。平成16年度上半期においては借り入れ及び現在高ともありません。

財産の状況

越谷市の財産には、土地建物などの公有財産と特定の目的のために設置された基金があり、その内容は次のとおりです。

公有財産

行政財産…庁舎や学校、保育所などの建物や敷地など

普通財産…行政財産のように直接行政目的のために供されるものではなく、その経済的な運営によって間接的に行政の執行に寄与することを主な目的とするもの

(平成16年9月30日現在)

区 分		土 地 面 積	建 物 面 積	
行政財産	本 庁 舎	15,990㎡	17,244㎡	
	その他の行政機関	消 防 施 設	16,754㎡	8,437㎡
		そ の 他 の 施 設 (学校給食センター等)	62,805㎡	18,553㎡
	公 共 用 財 産	学 校	965,450㎡	312,776㎡
		公 営 住 宅	24,237㎡	9,479㎡
		公 園	812,098㎡	4,442㎡
		そ の 他 の 施 設 (地区センター等)	419,149㎡	150,743㎡
小 計	2,316,483㎡	521,674㎡		
普 通 財 産	117,005㎡	11,784㎡		
合 計	2,433,488㎡	533,458㎡		

基金

基金は、特定の目的のために積み立て又は運用するために設けられたものです。現在7つの基金を設置しており、各基金の平成16年9月30日現在額や設置内容は次のとおりです。

財政調整基金

17億2,333万円

災害復旧、リ災援助及び市債の繰上償還等財源に不足が生じた時のための基金

保険給付費支払基金

9万円

国民健康保険の保険給付費支払金の不足に充当するための基金

土地開発基金

25億円

公用又は公共用に必要な土地をあらかじめ取得し、事業の円滑な執行を図るための基金

公共施設等整備基金

3,000万円

公共施設等の整備のための基金

越谷しらこぼと基金

9億円

快適で魅力的なふるさとづくりに活用するための基金

高速鉄道等整備基金

1億19万円

新たな高速鉄道や鉄道関連施設の整備を推進するための基金

介護保険給付費準備基金

8億9,758万円

介護保険事業に要する費用の不足額に充てるための基金



平成 15 年 度

平成15年度の事業期間(平成15年4月1日～平成16年3月31日)が終了しましたので、

一般会計

歳入決算額は、763億4,054万円で、予算額に対して100.8%の収入となりました。前年度決算額762億7,116万円に比べ6,938万円増となりました。地方交付税の振り替えである臨時財政対策債の発行増により市債が増加しましたが、市税、地方交付税が減少しました。

一方、歳出決算額は、740億5,873万円で、予算額に対して97.8%の執行となりました。各種福祉政策の充実や、市民生活に欠かせない都市基盤整備などに努めました。

歳 入

区 分 款 別	予 算 額	決 算 額	決算額構成比
市 税	394億7,040万円	400億9,407万円	52.5%
市 債	95億2,590万円	92億4,600万円	12.1%
地方交付税	66億 400万円	66億 420万円	8.7%
国庫支出金	57億 897万円	55億6,716万円	7.3%
諸 収 入	21億8,985万円	20億8,633万円	2.7%
そ の 他	121億9,803万円	127億4,278万円	16.7%
合 計	756億9,715万円	763億4,054万円	100.0%

歳 出

区 分 款 別	予 算 額	決 算 額	決算額構成比
民 生 費	186億7,384万円	185億1,655万円	25.0%
土 木 費	166億 867万円	159億2,723万円	21.5%
教 育 費	93億8,056万円	91億8,279万円	12.4%
総 務 費	93億5,732万円	91億7,387万円	12.4%
公 債 費	83億2,851万円	83億1,465万円	11.2%
衛 生 費	78億2,396万円	76億2,617万円	10.3%
そ の 他	55億2,429万円	53億1,747万円	7.2%
合 計	756億9,715万円	740億5,873万円	100.0%

決算状況

一般会計及び特別会計の決算状況を報告いたします。

特別会計

行政をより円滑に、かつ効率良く進めるために特別会計を設置し、それぞれの事業目的にそった執行を行いました。

会計名	区分	予 算 額	決 算 額	
			歳 入	歳 出
国民健康保険		241億 630万円	244億4,644万円	239億7,622万円
老人保健		150億1,423万円	149億8,185万円	149億7,335万円
介護保険		64億4,539万円	64億7,346万円	62億8,954万円
交通災害共済事業		8,281万円	6,992万円	6,685万円
間久里土地区画整理事業		5,719万円	5,716万円	5,404万円
東越谷土地区画整理事業		23億6,227万円	23億7,028万円	18億2,096万円
越谷駅西口土地区画整理事業		2億 491万円	2億 491万円	1億3,410万円
七左第一土地区画整理事業		19億6,812万円	17億8,516万円	12億7,859万円
西大袋土地区画整理事業		25億3,882万円	24億2,253万円	20億5,004万円
公共下水道事業		113億3,103万円	105億1,449万円	102億8,877万円
公共用地先行取得事業		13億6,949万円	13億6,896万円	13億5,329万円
合 計		654億8,056万円	646億9,516万円	622億8,575万円

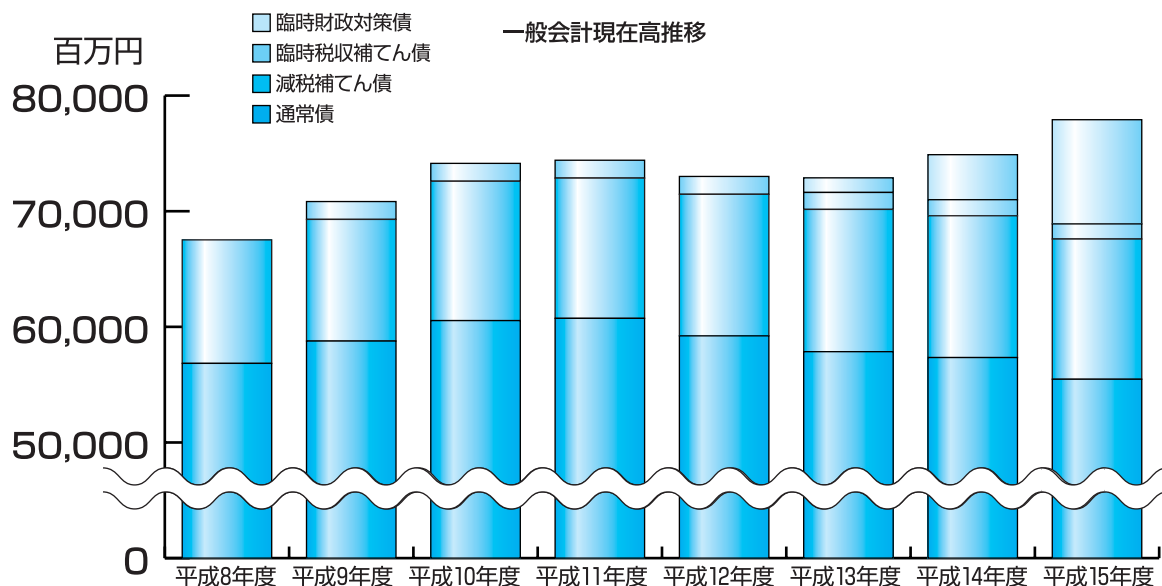
市税の状況

税 目	区分	予 算 額	調 定 額 ①	収入済額 ②	徴 収 率 (②/①)	決 算 額 構 成 比	市民1人当り 負 担 額
市 民 税		178億3,400万円	195億9,368万円	179億4,479万円	91.6%	44.8%	56,704円
固 定 資 産 税		164億6,100万円	187億1,805万円	168億6,991万円	90.1%	42.1%	53,307円
軽 自 動 車 税		1億5,900万円	1億9,318万円	1億6,307万円	84.4%	0.4%	515円
市 た ば こ 税		20億7,000万円	20億9,907万円	20億9,908万円	100.0%	5.2%	6,633円
特別土地保有税		2,740万円	1億5,806万円 (3億 896万円)	3,640万円	23.0% (11.8%)	0.1%	115円
事 業 所 税		5億8,000万円	6億2,214万円	6億 526万円	97.3%	1.5%	1,913円
都 市 計 画 税		23億3,900万円	26億5,420万円	23億7,556万円	89.5%	5.9%	7,506円
合 計		394億7,040万円	440億3,838万円 (441億8,928万円)	400億9,407万円	91.0% (90.7%)	100.0%	126,693円

※()内は、徴収猶予分を含む。人口316,466人(平成16年3月31日現在)

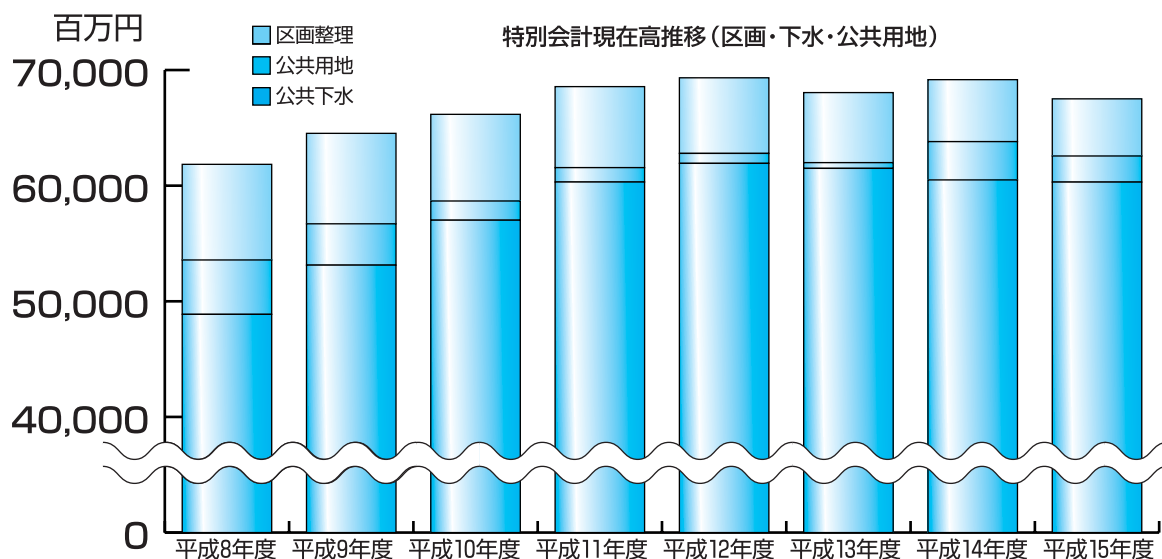
市債現在高の推移

一般会計の市債現在高のうち、教育施設や道路などの整備事業に充てる通常債は減少傾向にあります。地方税減税に伴う歳入を補うための減税補てん債や国の財源不足等により減少となった地方交付税交付金を補うための臨時財政対策債の額が増加しています。



単位:万円

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
臨時財政対策債	0	0	0	0	0	126,310	389,260	900,944
臨時税収補てん債	0	154,400	154,400	154,400	154,400	146,747	138,934	130,957
減税補てん債	1,068,000	1,051,907	1,205,206	1,212,798	1,224,096	1,230,241	1,226,162	1,212,410
通常債	5,684,219	5,877,301	6,054,147	6,073,765	5,922,224	5,785,326	5,734,564	5,546,996

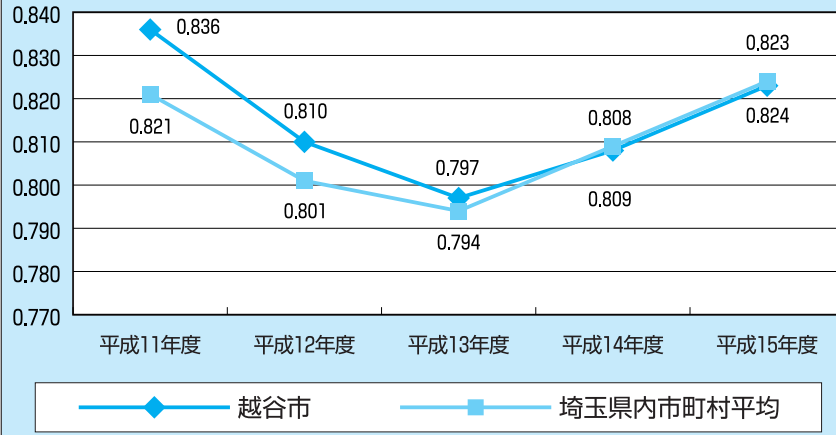


単位:万円

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
区画整理	826,981	782,279	749,370	700,548	653,775	605,777	535,735	494,123
公共用地	470,110	357,310	165,979	124,418	86,038	49,517	331,137	225,630
公共下水	4,887,318	5,312,843	5,701,462	6,031,603	6,192,980	6,149,641	6,049,787	6,031,011

主な財政指標

財政力指数の推移



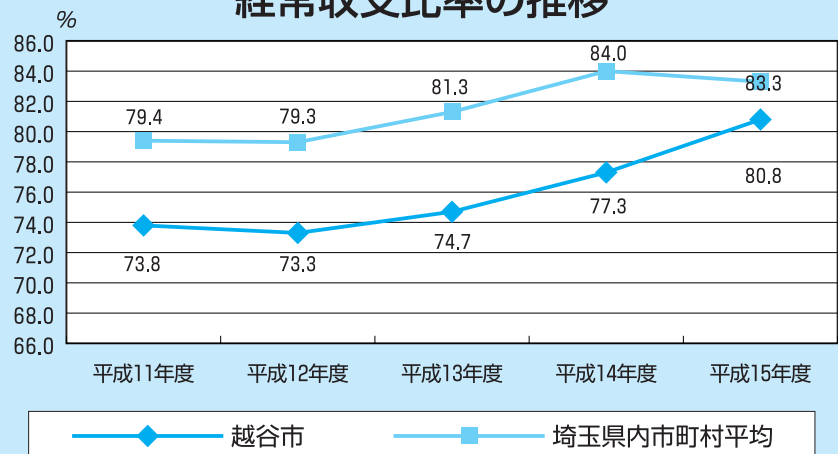
財政力指数

基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3年間の平均値。地方公共団体の財政基盤の強弱を示す指数で、標準的な行政活動に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表しています。

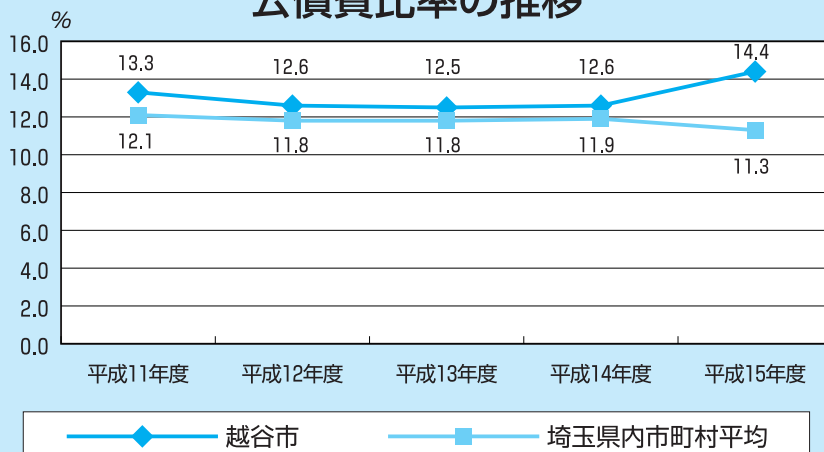
経常収支比率

人件費や公債費など、毎年度経常的に支出する経費が、地方税など、毎年度経常的に収入される一般財源の総額に占める割合。比率が高いほど財政構造の弾力性に欠けるとされています。

経常収支比率の推移



公債費比率の推移



公債費比率

地方債の元利償還金に充当された、一般財源の標準財政規模に対する割合。標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な状態で通常歳入されるであろう経常一般財源の規模をいいます。

※ 平成15年度の数値については、(仮)越谷広域斎場用地分の市債を一括償還したため、一時的に上昇したものです。

平成15年度決算の貸借対照表

貸借対照表は、企業が決算時などに保有する資産・負債・資本の状態を表したものです。この平成15年度貸借対照表は、企業が決算時などに保有する資産・負債・資本の状態を表したものです。この平成15年度貸借対照表は、企業が決算時などに保有する資産・負債・資本の状態を表したものです。この平成15年度貸借対照表は、企業が決算時などに保有する資産・負債・資本の状態を表したものです。

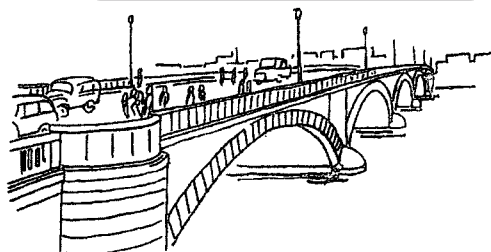
かりかた かしかた
借方(左側)は、貸方(右側)の資金を運用して形成した資産を表しています。

平成15年度
(平成16年)

資産は、市民の財産として将来にわたるさまざまな行政サービスを提供する資産であり、基本的に処分できないものです。

有形固定資産 (構成比93.6%)
道路・橋・河川・公園等の他、学校や市民会館などの建物・設備・自動車などの工事費または購入費等です。計上額は減価償却を行っています。土地は取得費の累計額で、減価償却は行っていません。

土地を除く固定資産は、時間の経過とともに次第に価値が減少していきます。この減少分を取得価格から差し引くことを減価償却といいます。



投資等 (構成比3.8%)
市立病院等への出資金、県住宅供給公社等への貸付金、越谷しらこぼと基金等の特定目的基金や定額運用の基金などです。



流動資産 (構成比2.6%)
基準日に保有している現金及び預金(財政調整基金を含む)と市税等(繰越事業の国・県支出金等の財源を含む)で年度内に収入されなかった未収金です。

債務保証は土地開発会社に対するものです。

	借	方
【資産の部】		
1 有形固定資産		
(1) 総務費	15,188	
(2) 民生費	11,960	
(3) 衛生費	5,904	
(4) 労働費	37	
(5) 農林水産業費	7,043	
(6) 商工費	41	
(7) 土木費	161,380	
(8) 消防費	3,435	
(9) 教育費	92,416	
(10) その他	10,214	
有形固定資産合計		307,618
(うち土地)		141,014)
2 投資等		
(1) 投資及び出資金	8,002	
(2) 貸付金	1,108	
(3) 基金	3,530	
投資等合計		12,640
2 流動資産		
(1) 現金・預金	4,345	
(2) 未収金	4,071	
流動資産合計		8,416
資産合計		328,674

※1 債務負担行為の限度額のうち債務保証は25,723百万円、その他26,070百万円、その他の
 ※2 埼玉県市町村議員退職手当組合に加入しており、退職手当は全額同組合より支給されます。
 ※3 年度末市債現在高82,673百万円のうち、地方交付税の基準財政需要額に算入される額は
 ※4 普通会計以外の資産形成に係る繰越金があり、公共下水道事業費特別会計における昭

※ この資料は、総務省発表の方式を基本に作成したものです。

(バランスシート)を作成しました。

対照表は、越谷市の普通会計決算（昭和44年度以降）における平成15年度末の財政状態を、企業会計的な手法によっていくため、作成したものです。平成14年度末と比較すると、資産は14億7,700万円(0.5%)の増加、負債は23億7,700万円(0.5%)の増加、また会計制度も異なることから、全部が同様な見方はできません。

普通会計とは、一般会計と特別会計の一部（公共用地先行取得事業会計、及び老人保健・介護保険・各土地区画整理事業の一部）です。

貸借対照表

3月31日

(単位:百万円)

貸		方	
【負債の部】			
1 固定負債			
(1)市債(翌々年度以降償還予定額)	76,550		
(2)債務負担行為	0		
固定負債合計			76,550
1 流動負債			
(1)市債(翌年度償還予定額)	6,123		
(2)翌年度繰上充用金	0		
流動負債合計			6,123
負債合計			82,673
【正味資産の部】			
1 国庫支出金			
	29,345		
2 県支出金			
	3,628		
3 一般財源等			
	213,028		
正味資産合計			246,001
負債・正味資産合計		328,674	

うち翌年度以降支出予定額は21,262百万円です。
 なお、年度末現在で全職員が普通退職した場合の要支給額は、18,578百万円です。
 46,005百万円です。
 和44年度以降の累計額は61,283百万円です。

かしかた かりかた
貸方(右側)は、**借方(左側)**の資産を形成するために使われた資金(財源等)を表しています

負債は、市民の負担として将来にわたって返済(償還)していくものです。

固定負債

市債の翌々年度以降の償還(返済)予定額です。(構成比23.3%)

また債務負担行為は、資産として物件等の引渡しを受けたものや市がその責を負う債務保証・損失補償で額の確定したものを計上しますが、該当はありません。

流動負債

市債の翌年度の償還(返済)予定額です。(構成比1.9%)
 翌年度繰上充用金は、翌年度の歳入を繰り上げてその年度の歳入にあてることができる制度ですが、該当はありません。



正味資産

資産形成に使われた国・県支出金と市税等の一般財源等の累計額です。(構成比74.8%)



市民1人当りの貸借対照表

借 方		貸 方	
資 産		負 債	261,000円
有形固定資産	972,000円		
投 資 等	40,000円	正味資産	778,000円
流 動 資 産	27,000円		
資産合計	1,039,000円	負債・正味資産合計	1,039,000円

(平成16年3月31日現在 人口316,466人)

平成15年度一般会計歳出決算を基に『階層

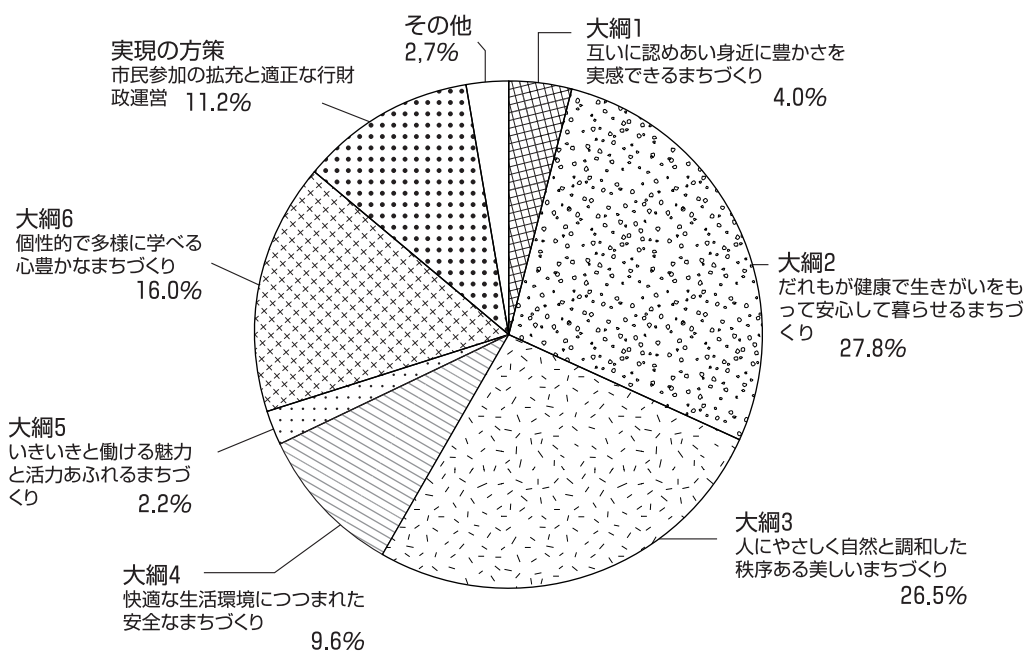
階層マトリクス型の決算

市の予算の用途を表す歳出決算は、目的別に当たる歳出科目の「款」別および「性質」別の決算を公表
 までの決算の方法として行っている歳出科目分類では、その事業の持つ目的や性格を把握しにくい
 そこで、決算をより分かりやすいものにするため『階層マトリクス型歳出決算書』を作成しました。
 の施策の体系を使って、歳出決算をマトリクス（相関表）形式に集計したものです。
 歳出科目分類の「款」ごとの決算額を「横軸」（表頭に表す）とし、第3次総合振興計画の施策体系の
 業等の目的や性格・大きさ（規模）を分かり易く把握することができます。
 なお、施策の「その他」には施策の大綱（1～6）および「実現の方策」にない事業や施策を集計してい

平成15年度階層マトリクス型

施策	款	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費
大綱1 互いに認めあい身近に豊かさを実感できるまちづくり		0	148,223	64,427	14,788	1,714
大綱2 だれもが健康で生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり		0	0	1,785,864	249,766	0
大綱3 人にやさしく自然と調和した秩序ある美しいまちづくり		0	629	0	6,160	0
大綱4 快適な生活環境につつまれた安全なまちづくり		0	14,907	0	373,312	0
大綱5 いきいきと働ける魅力と活力あふれるまちづくり		0	0	0	0	4,189
大綱6 个性的で多様に学べる心豊かなまちづくり		0	81,192	0	0	5,048
実現の方策 市民参加の拡充と適正な行財政運営		1,241	550,318	0	114,668	0
その他		48,054	122,118	1,364	3,924	393
総計		49,295	917,387	1,851,655	762,618	11,344
構成割合		0.7%	12.4%	25.0%	10.3%	0.2%

平成15年度一般会計歳出決算の大綱別構成



施策（大綱）の内訳

大綱1	地域で支えあうまちづくり、心で快適に暮らせる地域のない明るいまちづくり、
大綱2	保健・医療、児童家庭福保障
大綱3	一体性のある計画的な都美しい都市景観の創造、地、下水道・河川、上水
大綱4	環境共生のまちづくり、
大綱5	産業の育成、商業・観光、
大綱6	幼児教育、学校教育、社エーション
実現の方策	市民と行政の協働による携の強化
その他	議会、総務、選挙など

マトリクス型歳出決算書』を作成しました。

しておりますが、市民サービスの多様化が進み、事業内容の多目的、複合的なものが増えてきました。そうした横断的な事業は、この面があります。

各種の事業や施策の性格・目的を分かりやすく、しかも、正確に表現するため、市民感覚に近い表現となっている「総合振興計画」

大綱を「縦軸」(表側に表す)として、マトリクス(相関表)形式で集計しました。決算を施策体系に分類することにより、実施した事

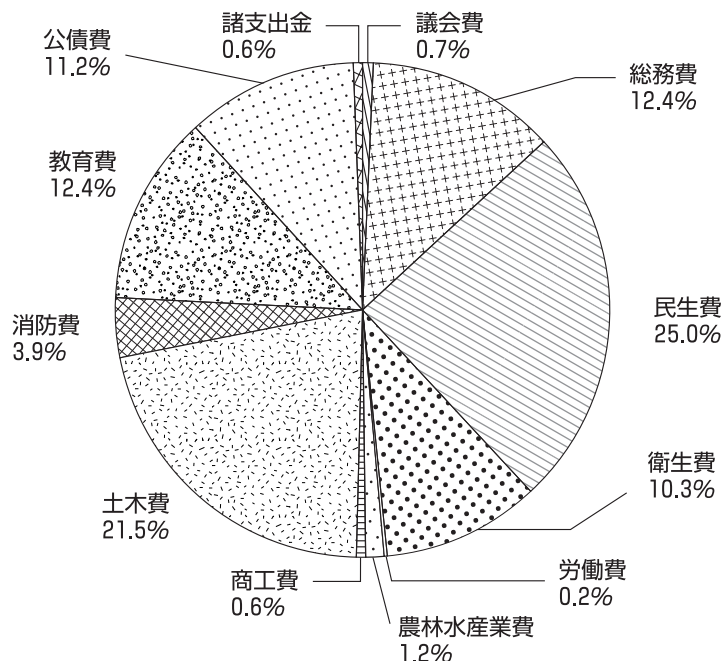
ます。

一般会計歳出決算

(単位：万円)

農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	諸支出金	総計	構成割合
603	0	246	0	33,841	32,387	125	296,354	4.0%
0	0	539	0	0	24,551	0	2,060,720	27.8%
0	0	1,557,038	0	0	395,119	0	1,958,946	26.5%
0	0	6,575	292,384	0	26,640	125	713,943	9.6%
86,337	46,713	0	0	0	23,801	0	161,040	2.2%
0	0	15,351	0	877,486	208,272	250	1,187,599	16.0%
0	0	10,958	0	0	120,695	31,896	829,776	11.2%
111	266	2,016	0	6,951	0	12,298	197,495	2.7%
87,051	46,979	1,592,723	292,384	918,278	831,465	44,694	7,405,873	100.0%
1.2%	0.6%	21.5%	3.9%	12.4%	11.2%	0.6%	100.0%	

平成15年度一般会計歳出決算の款別構成



伸びやかに子どもが育つ地域づくり、安
づくり、互いに認めあう社会づくり、差別
地域におけるまちづくりの推進

社、障害者(児)福祉、高齢者福祉、社会

市の形成、人にやさしい都市づくり、
市街地、道路、公共輸送網、公園・緑
道

住宅、防災、消防・救急

工業、農業、雇用の対策

会教育・文化活動、スポーツ・レクリ

市政の推進、都市経営の推進、都市連



平成16年12月発行
越谷市役所 企画部財政課
☎048-963-9115(直通)



古紙配合100%再生紙を使用しています